

【島根県総合防災訓練】新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所設営

ポイント

- 1) 防災士と地域住民が連携し、段ボールベッド・間仕切りなどを組み立てる、住民主体の実践的な訓練
- 2) 「避難所における新型コロナウイルス感染症対策のポイント（島根県策定）」に沿った避難所設営を実施
- 3) 訓練参加者、避難所見学者に対し、災害時に役立つ健康管理講習会を実施
- 4) 要配慮者の方が参加し、盲導犬と同伴避難訓練を実施

訓練日時：令和3年10月24日（日）7：30～11：30

参加機関：浜田市、浜田市防災士連絡会、浜田市長浜地区住民、日本盲導犬協会
島根県看護協会、島根県身体障害者団体連合会、島根県社会福祉協議会

訓練概要：防災士と地域住民が連携し、感染予防対策を講じた避難所設営
要配慮者と盲導犬の同伴避難



設営が完了した避難所



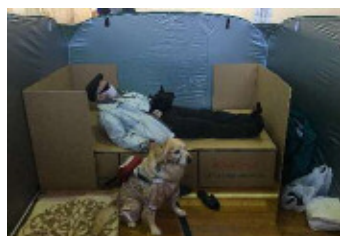
段ボールベッドの組立



災害時に役立つ健康管理講習会



避難所設営の様子



盲導犬と同伴避難

参加者の声

- ✓ 訓練を通じ、地域の防災力や防災意識を高めることが出来た
- ✓ 要配慮者の方に避難所の設備や環境を確認していただく良い機会となった
- ✓ 段ボールベッドの組み立てが容易であった
- ✓ 段ボールベッドの有効性について理解を深めることができた
- ✓ 平時における訓練や地域防災活動の必要性を強く感じた
- ✓ 自主防災組織の必要性を強く感じた
- ✓ 受け入れ側に盲導犬を知ってもらえるいい機会だった。自分も安心して避難できることが確認できた